

令和2年2月藤枝市議会定例会

健康福祉委員会委員長報告書

(議案審査)

令和2年2月28日

[本 会 議]

健康福祉委員会に付託されました、議案5件の審査の経過と結果について、主な質疑を中心に報告いたします。

最初に、第11号議案

「令和元年度 藤枝市一般会計補正予算(第6号)」のうち、本委員会に分割付託されました^{ひもく}費目について、申し上げます。

はじめに、「歳出の3款2項1目 老人福祉総務費中、老人福祉センター管理運営費の減額理由について伺う。」という質疑があり、

これに対して、

「当初、藤美園のアセットマネジメントによる外壁及び屋根の工事を予定していたが、内部の老朽化も進んでいるため、令和2年度に設計を行い、令和3年度以降にリニューアル工事を行うこととしたため、令和元年度の工事を見送り、減額した。」という答弁がありました。

次に、「歳出の3款3項3目 児童支援費中、障害者支援給付費の障害児通所給付費と放課後等デイサービス給付費について、

利用者増による増額と聞いているが、利用者増の要因を伺う。」という質疑があり、

これに対して、

「障害児通所給付費については、市内の保育園を訪問して、お子さんへの指導を行う保育所等訪問支援事業のニーズが高まったため。

また、放課後等デイサービス給付費については、障害者手帳を持たないお子さんでかかりつけ医が

『療育を必要とする』と判断した児童が増えたこと、また、市内外に新規事業所が開設されたことにより、利用量が増加したため。」という答弁がありました。

このほか、特に報告いたす質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第12号議案

「令和元年度 藤枝市国民健康保険事業 特別会計補正予算(第2号)」について、申し上げます。

一委員より、

「歳入の5款1項1目 一般会計繰入金について、法定外繰入金、いわゆる赤字補てん分の繰入金が戻せていない。今後の見込みを伺う。」という質疑があり、

これに対して、

「いわゆる赤字補てんの繰入金については、今後、国保税の徴収に努め、繰入を見送ることができるの見込んでいる。」という答弁がありました。

このほか質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第16号議案「令和元年度藤枝市介護保険特別会計補正予算（第3号）」について、申し上げます。

一委員より、

「歳入の3款2項4目 保険者機能強化推進交付金について、自治体に取り組んでいることを国が高く評価し、交付額が加算されることはあるか伺う。」という質疑があり、

これに対して、「昨年度より始まった交付金であり、各自治体の高齢者の自立支援や介護予防事業等に対する

評価に応じて交付額が決まり、配分される。

順位等は公表されていないが、本市は県内でも上位と聞いている。」という答弁がありました。

このほか質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第17号議案「令和元年度藤枝市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」について、申し上げます。

質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

最後に、第19号議案

「令和元年度藤枝市病院事業会計補正予算（第2号）」について、申し上げます。

初めに「入院患者数及び入院収益の減少について、その要因を伺う。」という質疑があり、

これに対して、「前半については、例年7月・8月は熱中症の患者が多いが、去年は梅雨が7月まで長引いたため、熱中症の患者が少なかった。後半についても、今年は暖冬で

インフルエンザの流行が抑えられているため、患者が少なくなっている。

また、2020年4月の診療報酬改定が厳しくなることを予想し、それに向けて入院在院日数の短縮を図ってきたため、入院数が減っている。

本来であれば、空いたベッドに新規の患者が入ってくれば効率的な病床稼働となるが、新規の患者が思っていたほど伸びなかった影響が出ている。」という答弁がありました。

次に、「外来収益の増加要因を伺う。」という質疑があり、これに対して、

「がん治療に用いる高額な薬の使用が増加していることや、他の病気の治療薬についても高額化の傾向があり、外来収益の増加につながっている。」

という答弁がありました。

このほか質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、報告いたします。